

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほほえみごこち

## 目標達成計画

作成日: 平成 21年11月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践はしているが、玄関施錠については、入居者の安全な見守りが出来る支援体制が取れている場合のみ開錠し、施錠していても入居者が外に出られたい場合は開錠しているが、常時の開錠には至っていない。	夜間帯以外は、常時玄関扉の開錠をする。	玄関扉にセンサーを取り付けしてあるため、それを有効活用し、業務の流れの見直しをしながら安全な状況で開錠できるようにする。	1ヶ月
2	6	3ヶ月に1回個別の生活状況報告や家族との交流行事を増やしたり、家族面会が多く情報共有はしているが、家族アンケートによる意見の情報収集ができていない。	家族アンケートを実施し、運営推進会議等で報告し運営に活かしたい。	家族が施設に遠慮なく答えやすいような質問内容や様式を作成する。	6ヶ月
3	13	施設全体で避難訓練、消火訓練を昼間想定と夜間想定で年2回実施しているが、グループホーム単独での訓練実施はできていない。	グループホーム単独での防災訓練実施をする。	職員全員が避難方法について理解し、防災用品等の設備も整える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。